

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスORANGE			
○保護者評価実施期間	令和7 年 4 月 15日 ～ 令和7 年 4 月 30 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数)	12家庭
○従業者評価実施期間	令和7 年 3月 15 日 ～ 令和7 年 3 月 31 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 5 月 3 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日利用される児童やORANGEだけしか利用していない児童が多いのでアットホームな関係性を築くことができる。	おうちに帰ってきたような雰囲気です。手作りおやつを提供することもあり、一緒に話をしながら楽しい時間を過ごせるようにしている。	小学校卒業の後のことも考え、中高生向けの療育、その後の進路など就労に向けての関わりについても検討しています。
2	集団活動を毎日日替わりで行っている。職員同士話し合いを行い、目的を設定し、異年齢でもできることを行い、コミュニケーション能力の向上、集団での指示理解が高められるような支援を行っています。	年齢に合わせてできることを見極めて、できた！がたくさんできるように工夫しています。手先指先のトレーニング、サーキット運動、ビジョントレーニングができるようなプログラムにしています。	言葉の理解や気持ちを言葉で表す、感情のコントロールが難しいお子さんが多いのでそこに対しての支援ができるような集団活動も今後取り入れていきます。
3	集団活動の前に個別に療育の時間があり、そこで一人一人の様子や状況把握ができています。本人のやりたい事ややってみたいことも取り入れ楽しみながら行っています。宿題をする習慣も身につけています。	宿題は連絡帳を確認しながら行っています。ひらがなが苦手なお子さんには勉強自体が嫌いにならないような声掛けや楽しみながらできるように工夫しています。	個別で関わりを持つことで本人の強みや好きなことを見つけ、あげてきた！をたくさん積み重ねて自信に繋げてあげられるように支援していきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個々の状況や成長過程の情報共有の仕方が構築できていない。それぞれのやり方になっている。	担当制ではないので関わり方が職員それぞれのやり方になっている。それぞれのやり方でもいい時もあるが、先生によって本人の対応が違う時がある。	話し合いの時間を確保し、情報共有をしっかりと行っていく。情報共有の仕方としてマニュアルを作り、これは同じやり方をしていく、など支援の方向性をしっかりと決められるように話し合っていく。
2	研修の時間や会議の時間をとるようにしているが朝からの利用があるため全員での研修等が難しい。	朝からの利用がほぼ毎日あるので時間をとるのが難しい。	同じ研修を個々に受けられる体制を作り、それに対して後日話し合いができるようにしていきたいと思います。外部の研修への参加も今後検討していきたい。
3	保護者会や地域との交流ができていない。	保護者会は土曜日・祝日も営業しているため開催できる時間がとれない。仕事をしている保護者の方も多いので開催日の設定が難しい。地域との交流を考えながら行っていきたい。	保護者会については保護者の方の要望を聞きながら今後行っています。地域との交流は積極的に自治会への参加に努めます。